

“くしろ森の楽校”の活動から

北海道教育大学釧路校「子どもの環境教育」研究室

北海道教育大学釧路校「子どもの環境教育」研究室（担当、大森享教授）では、牧場および NPO 団体との協働で、大学のある釧路市に隣接する鶴居村にある 200ha の“森と川と牧場”をフィールドとした“くしろ森の楽校”を実施しています。

“くしろ森の楽校”では、年間を通じて月 1 回程、幼・小・中の異年齢子ども集団と研究室学生・市民ボランティアによる取り組みを展開しています。

自然豊かな北海道東地域でも、都市部における子どもたちと同様に、自然との応答関係が希薄であるという危機感と、大学生自身も子どもたちと同様な状況にあるという事から始めた取り組みです。実際に実践を創りながら研究を進めるアクションリサーチで、プログラム開発と子どもの発達研究を行っています。



学生と市民ボランティアによる“森の広場”づくり。



“はじめの会”。毎回 20 名程の子どもたちが集まります。



枝に倒木を差し込み床を作り、ツリーハウスを作りました。



ヤマブドウのつるを利用したブランコは気持ちいい



エゾシカの頭骨と記念写真。



「僕の木」と遊ぶ。